

|  |            |
|--|------------|
| 授業科目<br>アフリカ文化研究   | 単位<br>2単位  |
| 授業担当者<br>三島 禎子   | 授業期間<br>前期 |
| <p>授業の題目と概要</p> <p>「人の移動に関する文化的研究」</p> <p>今日の人の移動に関して、地理的拡大と歴史的動態に着目し、移動にともなう経済活動を民族文化の側面から考察し、アフリカ経済の過去と現在を再考する。</p>  |            |
| <p>授業の内容と計画</p> <p>導入では国際移動の基本的理論について概観したうえで、批判的な理解を試みる。そこから人の移動に着目した「アフリカ経済」の歴史的変遷をたどり、商業活動の位置づけとその文化的要因を探る。具体的には西アフリカからヨーロッパへの労働移民として知られる民族集団を例にとり、労働移動という範疇でとらえられがちな人の移動を、人類に普遍的な枠組みから理解しなおし、アフリカ経済を再考する。授業は、移動や商業を営む人びと全般にも応用できる内容であるとともに、世界の「中心」と「周辺」という概念に対する考察でもある。</p> |            |
| <p>使用する参考書、参考論文等</p> <p>ウォルター・ロドネー（北沢正雄訳）『世界資本主義とアフリカ』拓殖書房<br/> 坂井信三『イスラームと商業の歴史人類学』世界思想社<br/> エマニュエル・トッド『移民の運命－同化か隔離か』藤原書店<br/> 川北稔編『ウォーラー・ステイン』講談社<br/> イマニュエル・ウォーラーステイン、ポール・ブローデル他（浜名優美監修・尾河直哉訳）『入門・ブローデル』藤原書店<br/> 他、欧文文献。</p>   |            |
| <p>成績評価基準</p> <p>出席と議論への参加を重視する。</p>   |            |
| <p>その他の留意事項</p>  |            |

